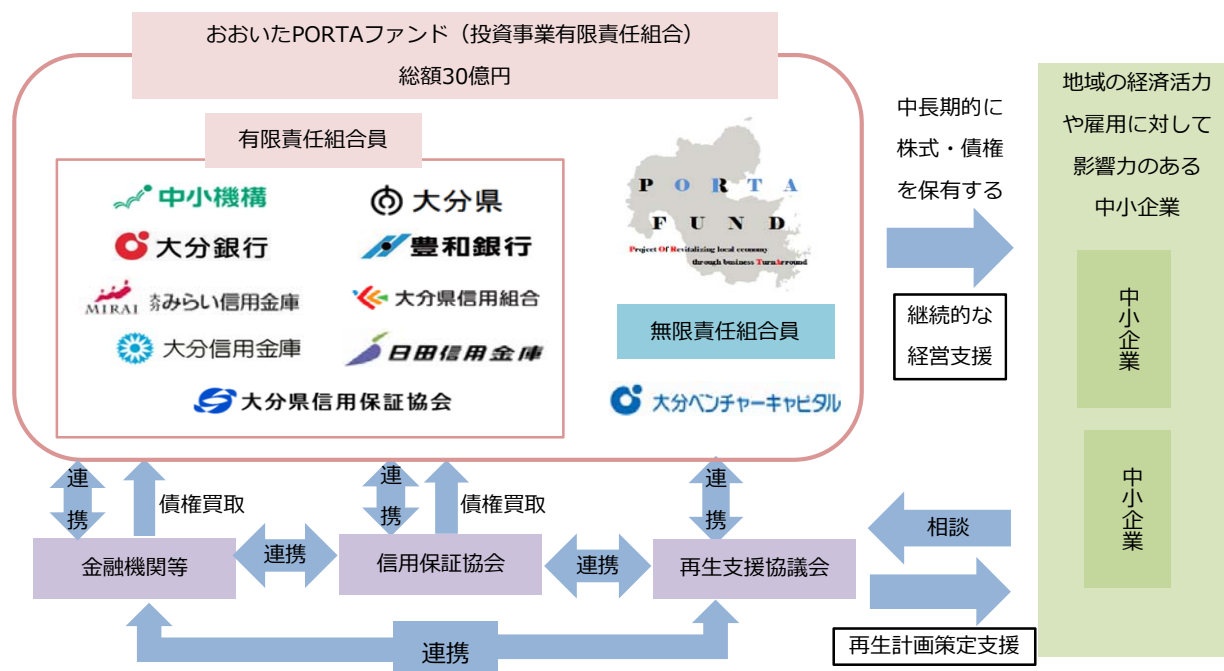


【ファンドスキーム図】



- (1) 投資事業有限責任組合契約に関する法律（「有責法」）に基づき、投資事業有限責任組合（ファンド）を設立します。ファンド運営は大分ベンチャーキャピタルが行います。
- (2) 取引金融機関は、対象企業と相談のうえ再生計画案を策定し、中小企業再生支援協議会へ持ち込みます。
- (3) 中小企業再生支援協議会は、計画案を検証し、必要な対策を講じたうえで支援決定を行います。
- (4) ファンドは、再生計画案を検証し、取引金融機関・中立的外部専門家の協力のもと具体的な再生計画の策定を経て、投資を実行します。
- (5) 投資後、ファンドは関係者と連携し、対象企業の再生支援に取り組めます。

【ご参考】大分県内の再生ファンド組成実績

大分企業支援ファンド ・設立／平成 16 年 1 月 ・総額／50 億円	中小企業事業団（現「中小企業基盤整備機構」）が出資する再生ファンドとして全国 2 番目に組成。 中小企業 20 社（従業員数 約 1,000 名）に投資。 ファンド運営：大分ベンチャーキャピタル
九州中小企業支援ファンド ・設立／平成 21 年 8 月 ・総額／30 億円	中小企業基盤整備機構が出資する地域再生ファンドとして、初の広域型ファンド。 中小企業 9 社（従業員数 約 1,000 名）に投資。 ファンド運営：大分ベンチャーキャピタル

『PORTA ファンド』とは

ファンド名『PORTA（ポルタ）ファンド』は、以下の3つの想いを込めて名付けました。

【投資先】

『PORTA』とは、イタリア語で『扉』を意味します。

～投資先に新しい扉を開いていただきたいという想い～

【投資スタンス】

また、『PORTA』は以下の頭文字をとっております。

Project **O**f **R**evitalizing local economy through business **T**urn**A**round

『事業再生を通じて、地域経済を活性化させるプロジェクト』

～投資側の地域経済活性化への想い～

【地域】

『PORTA』の文字の中に、『OITA（大分）』を表しております。

～投資エリアである大分への想い～

